

第19回あいちの農業・農村フォトコンテスト



「ランチタイム」(新城市)
間瀬紳一郎氏 撮影

水土里ネット愛知主催による「第19回あいちの農業・農村フォトコンテスト」に今年度も協賛させていただきました。今年も多くの力作277点(129名)が寄せられました。

当研究会からは審査の結果、左記作品を「豊かな農地あいち特別賞」として選考させていただきました。

農作業の合間にお昼休みする農家の皆さん(と思ったら「かかし」)がおにぎり片手に談笑している里山のコミカルなひとコマが、心を和ませてくれる作品です。



当研究会では、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の医療従事者支援のため、会員会社協力のもと、「あいち医療応援基金」へ50万円の寄附を行い、愛知県知事より感謝状を頂きました。

令和2年度「あいちの農業用水展」パネル展示

毎年8月1日の「水の日」関連行事として農業用水の重要性を知ってもらおうと、県が1991年から開いている「あいちの農業用水展」が8/1(土)~7(金)の1週間、名古屋・栄のセントラルパーク市民ギャラリーで開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年人気の子ども向けイベントは取りやめとなり、県内の主要な農業用水を紹介するパネル展示となりました。

当研究会は子供向けに測量や機能診断調査について紹介するパネルを作成し、展示を行いました。



令和2年度 ANDK 企画研修会 開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、各種研修会が軒並み中止となる中、11月18日(水)に愛知県土地改良会館大会議室において、企画委員会主催のANDK企画研修会を開催いたしました。当日は県職員、当研究会会員等、会場参加51名、Zoom参加38名の合計89名と多数のご参加を頂きました。今回は、厳重なコロナ対策を行い、オンラインセミナーを併用して会場参加者を少なくすることで、何とか開催にこぎつけることができました。



清水 潤子 氏

講演1 「猟師になってわかったこと～里山の農作物被害とジビエ～」

猟師・ジビエカフェオーナー 清水潤子氏

人間が手入れしなくなった山から餌を求めて人里に降りてくる野生の猪や鹿等の有害鳥獣による農作物被害が、里山の過疎化・高齢化とともに年々増加していることや、里山の猟師として日々これらの山の命と向き合い、命を粗末にせずジビエとして活用している例をご紹介します。



原 浩司 氏

講演2 「気候災害と防災気象情報の活用」

名古屋地方気象台 防災調査官 原浩司氏

日本における気温・降水量の現状、年平均気温・無降水日のこれまでの変化や、地球温暖化で大雨等の異常気象が増加するメカニズムについて、簡単な実験と動画を用いてわかりやすくご紹介いただきました。また、最近の「線状降水帯」に代表される異常気象についてもご説明頂きました。

令和2年度 合同現地研修会開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により、当初予定していた県内9支部の現地研修会のうち、8支部が開催中止となり、名古屋支部のみzoomを用いたオンラインセミナー形式で1月29日(火)に開催されました。

研修では、施工現場での小型カメラを用いた遠隔臨場の技術や、映像を活用したCIM、及び手造りi-Construction技術の紹介など、ICT技術やWeb技術を用いた新技術についての研修が行われ、大変有意義な研修会となりました。



オンライン研修の様子
(画面加工してあります)